

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)

【公開番号】特開 2010-56507 (P2010-56507A)

【公開日】平成 22 年 3 月 11 日 (2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報 2010-010

【出願番号】特願 2008-281851 (P2008-281851)

【国際特許分類】

H 0 1 G 9/12 (2006.01)

H 0 1 M 2/12 (2006.01)

【F I】

H 0 1 G 9/12 B

H 0 1 M 2/12 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 9 月 27 日 (2011.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ラミネートフィルム (1) で包装されたキャパシタ (2) に設けられ、前記ラミネートフィルム (1) の内部 (X) の圧力が一定圧力より高くなった場合に、その内部 (X) と外部 (Y) とを連通させる圧力開放弁 (3) において、

前記圧力開放弁 (3) が、前記ラミネートフィルム (1) に設けられた開口部 (4) に取付けられ、外部 (Y) 側に開放した環状の溝部 (5 1) と、前記溝部 (5 1) と内部 (X) とを連通する連通孔 (5 2) とを備えた樹脂材製ハウジング (5) と、前記溝部 (5 1) の底部 (5 3) 側に保持されている本体部分 (6 1) と、前記本体部分 (6 1) から外部 (Y) 側に向かって伸び、前記溝部 (5 1) の外周面 (5 5 1) と弾性接触している弁部 (6 2) とを有し、ゴム状弾性体単体で構成され、内部 (X) の圧力が一定圧力より高くなった場合に、前記弁部 (6 2) と前記外周面 (5 5 1) との接触を解いて、内部 (X) の圧力を外部 (Y) に開放するようになした弁体 (6) とよりなることを特徴とする圧力開放弁。

【請求項 2】

前記圧力開放弁 (3) のハウジング (5) の端面 (5 4) と、前記ラミネートフィルム (1) の前記開口部 (4) 近傍の内部 (X) 側の面とが、熱融着により一体化されていることを特徴とする請求項 1 記載の圧力開放弁。

【請求項 3】

前記溝部 (5 1) の内周面 (5 5) 若しくは外周面 (5 5 1) の少なくとも何れか一方に、前記本体部分 (6 1) の外周面 (6 3) 若しくは内周面 (6 4) が接する部分に、抜け止め用の段部 (5 6) を設けたことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の圧力開放弁。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0017  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0018  
【補正方法】削除  
【補正の内容】